

武蔵野書院

中世文学会会員様向け特設サイト

2020年10月23日～11月末日

このサイトからのご注文に限り書籍を、
学会割引(税込定価の2割引) + 送料無料
にてご注文いただけます。

ご注文方法

1. **A** 書籍名をクリックする、**B** 書籍QRコードを読み取る、
C 最後のページの注文書で、FAXやメール等で注文する。
A～C のいずれかの方法でご注文ください。
2. **A・B** でご注文の際は中世文学会会員である旨を明記ください。

お支払方法

1. ご注文いただいた書籍をお送りする際に同梱する、郵便振込用紙にてお支払ください(振込手数料小社負担)。銀行振込でも承りますが、その際は振込手数料をご負担いただきます。
2. 公費注文の場合、宛名・日付の有無・納品/見積/請求書の枚数をお知らせください。

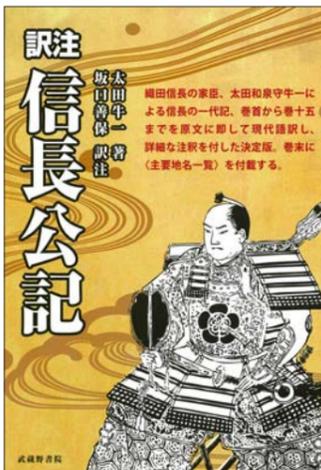
***** ご注文・お問い合わせ先 *****

武蔵野書院

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11

TEL 03-3291-4859 FAX 03-3291-4839

e-mail: info@musashinoshoin.co.jp



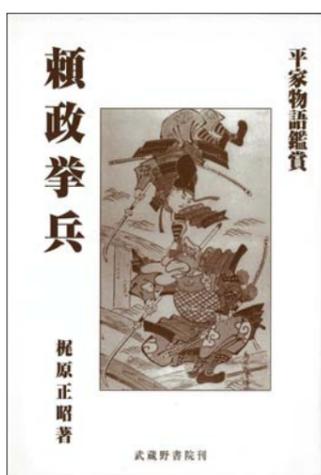
訳注 信長公記

太田牛一〔著〕
坂口善保〔訳注〕

ISBN：978-4-8386-0478-4・本体 2900 円
A5 判並製カバー装・408 頁



織田信長の家臣、太田和泉守牛一による信長の一代記、巻首から巻十五までを原文に即して現代語訳し、874 箇所にあふ詳細な〔注記〕を付した決定版。巻末に〈主要地名一覧〉を付載する。今まで、『公記』の現代語訳はあまた刊行されているが、それらとはあきらかに一線を画す決定版が、本書『訳注 信長公記』である。



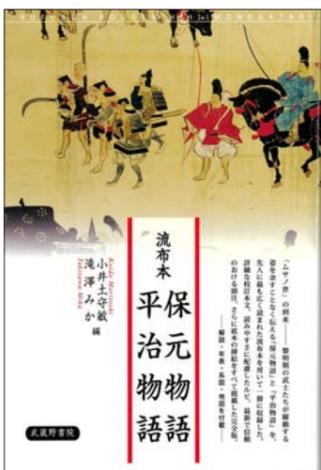
頼政拳兵〔平家物語鑑賞〕

梶原正昭〔著〕

ISBN：978-4-8386-0391-6・本体 2600 円
A5 判上製カバー装・384 頁



本書は「平家物語」を原文で読みたいと思うかたがたのために、読解のための手がかりとして「いつ」「どこで」「だれが」に着目し、その流れに沿って丁寧に史実を踏まえて読み解いていく、『鹿の谷事件』の続編であり、「平家物語」鑑賞の手引き書。



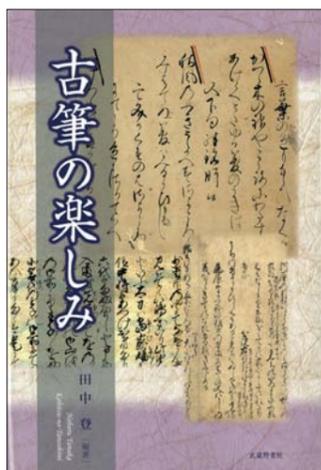
流布本 保元物語 平治物語

小井土守敏〔編〕
滝澤みか

ISBN：978-4-8386-0654-2・本体 1800 円
A5 判並製カバー装・312 頁



「ムサノ世」の到来——黎明期の武士たちが躍動する姿を余すことなく伝える『保元物語』と『平治物語』を、先人に最も広く読まれた流布本を用いて一冊に収録した。詳細な校訂本文、読みやすさに配慮したルビ、最新で信頼のおける頭注、さらに底本の挿絵をすべて掲載した完全版。—解説・年表・系図・地図を付載—



古筆の楽しみ

田中 登〔編著〕

ISBN：978-4-8386-0455-5・本体 2000 円
A5 判上製カバー装・186 頁



集める楽しみ、眺めて悦に入る楽しみ、解説する楽しみ、調べる楽しみ……。古筆見による筆者の鑑定の当否や、書写年代、さらにはお宝品としての価値の如何など、たった一枚の古筆切でも、これを様々な観点から愉しむことが出来る。編著者架蔵の古筆切の写真と、11名の専門家による解説を見開き頁で紹介する、古筆切の楽しみ方ハンドブック！



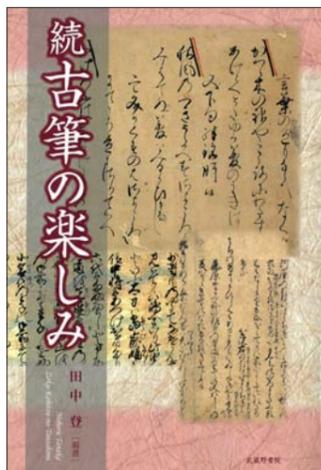
平家物語 覚一本全 改訂版

大津雄一〔編〕
平藤 幸

ISBN：978-4-8386-0650-4・本体 2000 円
A5 判並製カバー装・504 頁



高野本を底本とし、巻第一から灌頂巻まで『平家物語』全文を1冊に完全収録。詳細な校訂本文に加え、読みやすさに配慮したルビをできる限り多く振り、さらに最新で信頼のおける頭注を付した。『平家物語』決定版！—簡便な系図・年表・図録・地図をも付載—



続 古筆の楽しみ

田中 登〔編著〕

ISBN：978-4-8386-0473-9・本体 2000 円
A5 判上製カバー装・184 頁



集める楽しみ、眺めて悦に入る楽しみ、解説する楽しみ、調べる楽しみ……。古筆見による筆者の鑑定の当否や、書写年代、さらにはお宝品としての価値の如何など、たった一枚の古筆切でも、これを様々な観点から愉しむことが出来る。編著者架蔵の古筆切の写真と、11名の専門家による解説を見開き頁で紹介する、古筆切の楽しみ方ハンドブック第二段。



鹿の谷事件〔平家物語鑑賞〕

梶原正昭〔著〕

ISBN：978-4-8386-0387-9・本体 2400 円
A5 判上製カバー装・320 頁



本書は「平家物語」を実際に原文によって読み解き、鑑賞することを目指したもので、『平家物語鑑賞』と名づけたが、その内容をテーマごとに分け、この度は第一編として、前段をいろいろ（鹿の谷陰謀事件）を中心に編集。視覚資料として多くの地図・系図・写真・図版を付載。各章段のあとに〔物語の舞台〕というコラムを設け、物語の背景や舞台となった場所、遺跡等に解説を加え、実地を踏査する際の便に供した。



ことばから迫る狂言論

—理論と鑑賞の新視点—

小林千草〔著〕
千 草子

ISBN：978-4-8386-0421-0・本体 2381 円
四六判上製カバー装・320 頁



ことばの研究者と歴史小説の作家とが、密接な関係の中で紡ぎあった注目の一書。日本語学・日本文学・芸術学・演劇学・コミュニケーション論専攻の卒論・レポートのために。また、その指導書として教師の方々へ、能狂言ファン・“お笑い”大好きな若者たちへ、活躍中の能楽師・狂言師の方々へ、おすすめの一書です。

拾遺愚草、下（部類歌）、四季歌注釈

小田 剛〔著〕

ISBN：978-4-8386-0700-6・本体 8000 円
A5 判上製函入・432 頁



本書は、拾遺愚草、下の部類歌の春、夏、秋、冬（四季）歌・2026～2378の注釈である。底本は定家自筆本（『冷泉家時雨亭叢書』）に拠り、歌番号は、『藤原定家全歌集（冷泉為臣編）』に従った。著者の前著『藤原定家名歌注釈』（武蔵野書院、2015年）に比べ、本書は、著者の今までの研究を集成する形としたため、例歌も多く挙げて、より詳しい注釈書となっている。

拾遺愚草、下（部類歌）、賀、戀、雜（旅、述懐、無常、神祇、釈教）歌注釈

小田 剛〔著〕

ISBN：978-4-8386-0704-4・本体 10000 円
A5 判上製函入・512 頁



本書は、前著（『拾遺愚草、下（部類歌）、四季歌注釈』）に続く、賀、戀、雜（旅、述懐、無常、神祇、釋教）歌の注釈である。

定家、初学百首、韻歌百二十八首、千五百番歌合百首、内大臣家百首、注釈

小田 剛〔著〕

ISBN：978-4-8386-0257-5・本体 13000 円
A5 判上製函入・660 頁



本書は、定家の初学・習作期の初学百首、達磨歌・新風歌風期の韻歌百二十八首、新古今歌風完成期の千五百番歌合百首、新古今後の反省転換期の内大臣家百首と、各期（1～4期）の代表定数歌（集）の注釈を試みたものである。

藤原定家名歌注釈

小田 剛〔著〕

ISBN：978-4-8386-0287-2・本体 3000 円
A5 判上製カバー装・256 頁



本書は、定家の名歌の注釈である。選歌の規準として、千載、新古今、新勅撰入集歌、及び晩年の定家卿百番自歌合（前稿本の歌も含む）——繁雑となるので、以下「百番」と略——の歌は、重複があるが、洩れなくすべて入れた。これらに加えて、人口に膾炙した定家の歌も含めて、238 首を注釈した。

中世文学序考〔再版〕

関口忠男〔著〕

ISBN：978-4-8386-0126-4・本体 14286 円
A5 判上製函入・423 頁



日本文学に対して仏教思想がどのような影響を与えてきたのか。仏教思想の影響が最も顕著に見られる中世文学を主対象として日本文学における思想的側面を中心に考察する。

院政期説話集の研究

伊東玉美〔著〕

ISBN：978-4-8386-0158-5・本体 7767 円
A5 判上製函入・285 頁



本書は『古事談』各巻の構成を綿密に分析し、その作業を通じてこの作品の説話文学史における位置を見定めようとし、併せて『古事談』と同じく言談の文学の系列に立つ『中外抄』『富家語』の性格をおさえ、それらに関った中原氏や高階氏が平安末期から中世初頭にかけての文学史において果たした役割を考察した。

日本文学概論ノート 古典編

原 豊二〔著〕

ISBN：978-4-8386-0653-5・本体 1400 円
A5 判並製本・88 頁



本書は、著者が大学で講義をした内容を基とし、文学作品とどのように向き合うかということに重点を置き、「日本文学概論」「日本文学」「文学」などの大学の授業用の教材として執筆。半期の授業向けに構成は15回となっている。第1回目を除き、日本文学の形態、日本文学の理念、日本文学の研究、日本文学の課題といったグループに分けられ、効率的に学べるように工夫されたテキスト。

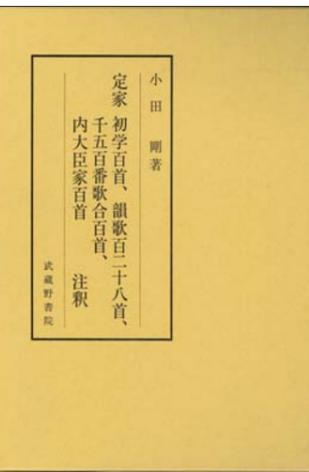
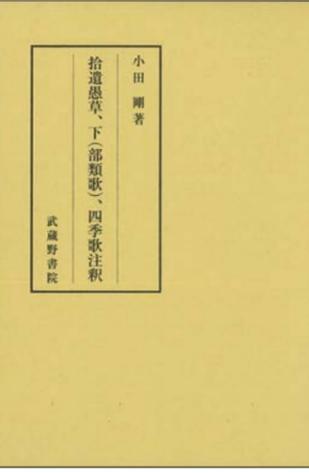
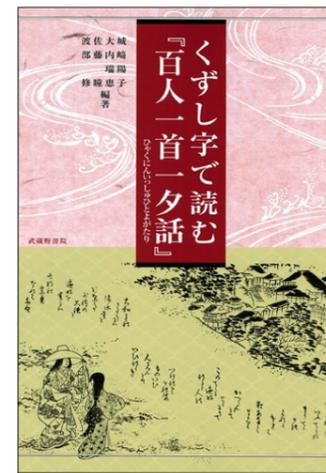
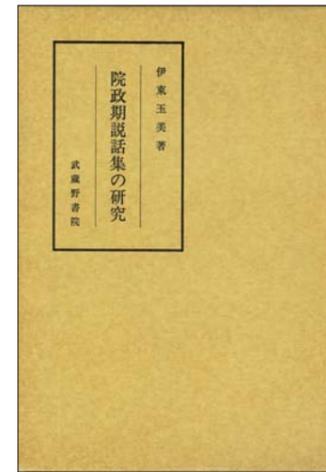
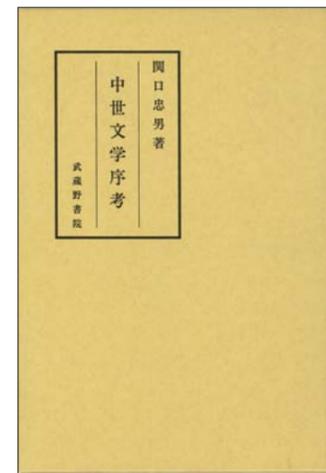
くずし字で読む『百人一首一夕話』

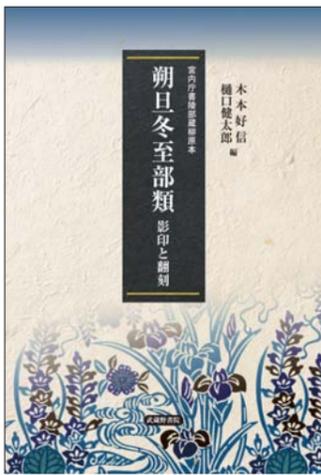
城崎陽子 / 大内瑞恵
佐藤 瞳 / 渡部 修〔編著〕

ISBN：978-4-8386-0652-8・本体 1800 円
A4 判並製本・134 頁



『百人一首一夕話』は、江戸時代後期の尾崎雅嘉による百人一首の注釈書です。百人一首を読み解きながら、近世期までに伝えられた歌人の伝記や逸話も学びつつ、くずし字学習本としての要素も盛り込みました。より深く、百人一首の世界や和歌文学の世界を学ぶことができるように工夫されたテキストです！





宮内庁書陵部蔵柳原本

朔旦冬至部類 影印と翻刻

木本好信 樋口健太郎 [編]

ISBN：978-4-8386-0711-2・本体 8300 円
A5 判上製カバー装・256 頁

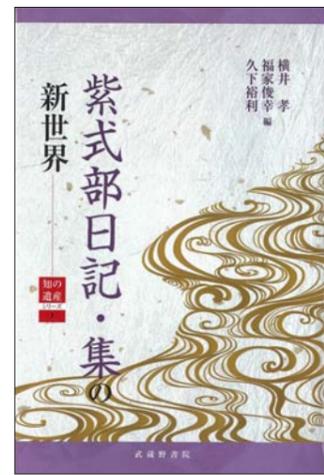


本書は、宮内庁書陵部が所蔵する柳原家旧蔵の『朔旦冬至部類』（架蔵番号・柳三六四）を、書陵部の許可を得て、影印、全文翻刻し、末尾に人名索引と解説にかわる「朔旦賀表と朔旦冬至—宮内庁書陵部蔵柳原本『朔旦冬至部類』にふれて—」と題する小論を付したものである。

紫式部日記・集の新世界 既刊分も好評発売中！

知の遺産シリーズ⑦ **最新刊** ISBN：978-4-8386-0489-0・本体 3000 円
横井 孝 / 福家俊幸 四六判上製カバー装・280 頁
久下裕利 [編]

⑥狭衣物語の新世界 ⑤宇治十帖の新世界 ④堤中納言物語の新世界



風に紅葉考

—百花繚乱する〈性〉への目差し—

大倉 比呂志 [著]

ISBN：978-4-8386-0476-0・本体 3000 円
四六判上製カバー装・190 頁



風に紅葉の散る時は……中世王朝物語に属する『いはでしのぶ』や『我身にたどる姫君』には、密通という〈性〉に関わる描写が溢れている。はたして、『風に紅葉』ではそれがどのように語られているのだろうか。本書七編の論文をもとに、その実体を照射する。

源氏物語の表現と絵画的展開

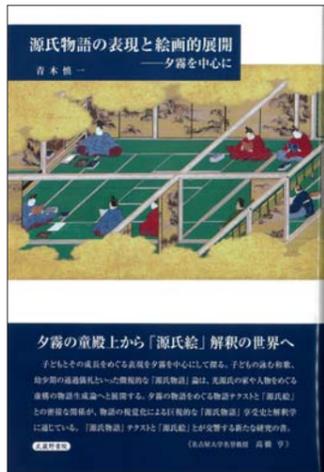
—夕霧を中心に—

青木慎一 [著]

ISBN：978-4-8386-0720-4・本体 12000 円
A5 判上製カバー装・378 頁



子どもとその成長をめぐる表現を夕霧を中心に探る。子どもの詠む和歌、幼少期の通過儀礼といった微視的な『源氏物語』論は、光源氏の家や人物をめぐる虚構の物語生成論へと展開する。夕霧の物語をめぐる物語テキストと「源氏絵」との密接な関係が、物語の視覚化による巨視的な『源氏物語』享受史と解釈学に通じている。『源氏物語』テキストと「源氏絵」とが交響する新たな研究の書。



十市遠忠和歌典籍の研究

最新刊

武井和人 [著]

ISBN：978-4-8386-0727-3・本体 34545 円
A5 判上製函入三分冊 (分売不可)



室町時代の武将・歌人、十市遠忠の和歌典籍の研究書。南都における典籍流通、詠草、歌合・自歌合、古典籍書写者および歌詠みとしての遠忠、遠忠文献などについて論じる。研究篇 592 頁、資料篇上・754 頁、資料篇下・714 頁の大ボリューム三分冊で構成される、約 40 年の永きに亘る著者畢生の研究成果をここに刊行する。

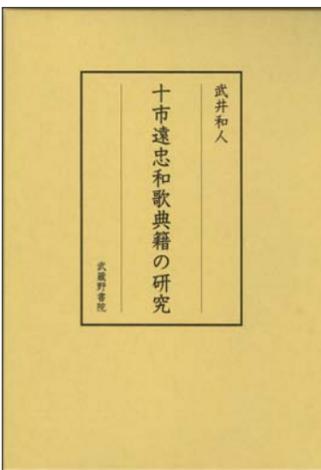
〈今・ここ〉に効く源氏物語のつぶやき

諏訪園 純 [著]

ISBN：978-4-8386-0481-4・本体 1200 円
四六判並製カバー装・232 頁



物語や小説を読む中で、登場人物が何となく口にした言葉がいつまでも心に残ることがある。文脈と言う衣を取り去った後に残るむき出しの言葉の断片は、読者の生きる〈今・ここ〉に解き放たれて、ときに人を導き、ときに人を励ます。そんな源氏物語の「つぶやき」を一つひとつ抜き書きし、テーマごとに整理した本書は、もう一つの源氏物語像を提示する。



長秋詠藻全評釈 下巻

檜垣 孝 [著]

ISBN：978-4-8386-0710-5・本体 12500 円
A5 判上製貼函入・464 頁



本書は、いわゆる第二類本『長秋詠藻』のうち、俊成自撰部分四八〇首の全評釈を試みたものである。自撰部分の後に加えられている「右大臣家百首」100 首は、仮名に適宜漢字を当てるなど読みやすいよう整えた本文のみを掲出するにとどめた。また、本書底本の最後にある奥書も本文のみを掲出するにとどめた。

ものがたりたちの京都 京都文学入門

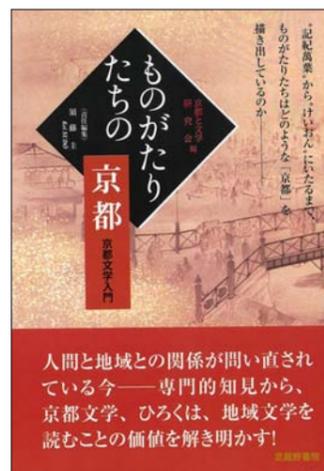
最新刊

京都と文学研究会 [編]
責任編集：須藤 圭

ISBN：978-4-8386-0484-5・本体 1500 円
四六判並製カバー装・228 頁



『記紀萬葉』から『けいおん』にいたるまで、ものがたりたちはどのような「京都」を描き出しているのか。人間と地域の関係が問い直されている今—専門的知見から、京都文学、ひろくは、地域文学を読むことの価値を解き明かす！





源氏物語生々流転 論考と資料

池田和臣〔著〕

最新刊

ISBN：978-4-8386-0729-7・本体 16000 円
A5 判上製カバー装・540 頁



仮名で物語を書くことには、どのような問題がはらまれていたのか。革新的で多様な方法、深い認識と思想、個性的な人間造型など、『源氏物語』の独自の世界形成はどのようにして獲得されたのか。『源氏物語』作者紫式部が、自らに先立つ文学的伝統—仮名表記史あるいは文学史の状況—とどう向かい合い格闘したのかを、様々な側面から考える。



源氏物語三条西家本の世界

最新刊

—室町時代享受史の一様相

上野英子〔著〕

ISBN：978-4-8386-0724-2・本体 12500 円
A5 判上製カバー装・450 頁



室町時代に、三条西家の源氏物語本文がどのようにして形成されていったのか。三条西家における源氏物語研究の位相を、現存諸本の書誌や本文状況、各種日記、注釈書といった諸方面から多角的に分析し、体系的に跡付けようとする試み。



平安文学の人物と史的世界

最新刊

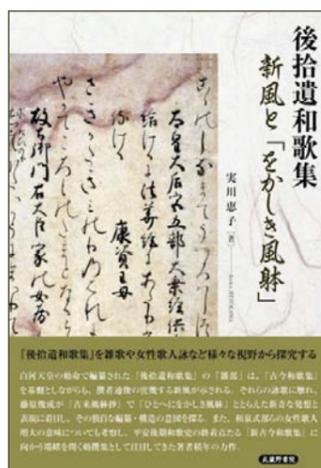
—随筆・私家集・物語—

高橋由記〔著〕

ISBN：978-4-8386-0726-6・本体 12000 円
A5 判上製カバー装・438 頁



平安文学に描かれた貴紳・後宮・女房の実像を、漢文記録類・諸家集の読み解きから探る粘り強い試み。『枕草子』や『栄花物語』が何を描き、何を描かなかったか、文学作品の特異な手法が見えて来る。漢文日記や名家秘蔵の家集類が一斉に公開、刊行、施注されてきた近年の学界状況に柔軟、貪欲に挑み、これまで空白だった後宮空間の歴史が豊かに再現される。



後拾遺和歌集 新風と「をかしき風躰」

実川恵子〔著〕

最新刊

ISBN：978-4-8386-0728-0・本体 8800 円
A5 判上製カバー装・220 頁



『後拾遺和歌集』の「雑部」は、『古今和歌集』を基盤としながらも、撰者通俊の庶幾する新風が示される。それらの詠歌に触れ、藤原俊成が『古来風躰抄』で「ひとへにをかしき風躰」ととらえた新奇な発想と表現に着目し、その独自の編纂・構造の意図を探る。また、和泉式部らの女性歌人増大の意味についても考察し、『新古今和歌集』に向かう端緒を開く勅撰集として注目してきた著者積年の力作。



次世代に伝えたい新しい古典

最新刊

—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて

井上次夫／高木史人
東原伸明／山下太郎〔編〕

ISBN：978-4-8386-0655-9・本体 2000 円
A5 判並製カバー装・272 頁



上代文学「古事記」から近代文学「土」までの日本文学、そして国語教育、日本文化に「令和」の視点からいま、新しい光を当てる。



文学としてのマンガ

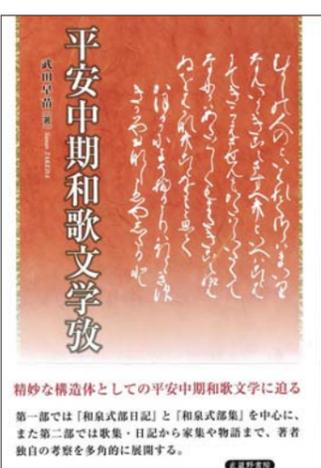
最新刊

山田利博〔著〕

ISBN：978-4-8386-0488-3・本体 2000 円
四六判並製カバー装・248 頁



文学とはなにか。それは「作者」が「想像力」によって「虚構の世界を作り」「思想」や「感情」を表現したものではないのか。絵であらわされているか、文字であらわされているかはさほど問題ではない。その証拠に、マンガは特に古典文学に通ずるところがある。マンガを読もう。あわせて古典などの文学も読もう。それがどちらもさらに面白く読むコツだといえよう。



平安中期和歌文学攷

最新刊

武田早苗〔著〕

ISBN：978-4-8386-0725-9・本体 11000 円
A5 判上製カバー装・408 頁



第一部では『和泉式部日記』と『和泉式部集』を中心に、また第二部では歌集・日記から家集や物語まで、著者独自の考察を多角的に展開し、精妙な構造体としての平安中期和歌文学に迫る。



大和物語の達成

最新刊

—「歌物語」の脱構築と散文叙述の再評価

東原伸明
山下太郎〔編著〕

ISBN：978-4-8386-0490-6・本体 3000 円
四六判上製カバー装・400 頁



大和物語は従来、伊勢物語と共に「歌物語」というジャンルで一括されてきた。しかし、その括りで一括することが、果たして適正であったか。脱構築し、「歌」じたいの位相を見極め、「散文」への方法性を模索することなど再検討の時機に来ている。本書は、大和物語のじたいの達成を見極め、再評価することを希求する。

この注文書でご注文いただければ、学会割引(税込定価の2割引+送料無料)を適用させていただきます(2020年11月末日まで)。

書籍名	価格	部数	公費・私費
訳注 信長公記	本体 2900 円+税	部	公費・私費
流布本 保元物語 平治物語	本体 1800 円+税	部	公費・私費
平家物語 覚一本全 改訂版	本体 2000 円+税	部	公費・私費
鹿の谷事件〔平家物語鑑賞〕	本体 2400 円+税	部	公費・私費
頼政拳兵〔平家物語鑑賞〕	本体 2600 円+税	部	公費・私費
古筆の楽しみ	本体 2000 円+税	部	公費・私費
続 古筆の楽しみ	本体 2000 円+税	部	公費・私費
ことばから迫る狂言論—理論と鑑賞の新視点—	本体 2381 円+税	部	公費・私費
拾遺愚草、下 (部類歌)、四季歌注釈	本体 8000 円+税	部	公費・私費
拾遺愚草、下 (部類歌)、賀、戀、雜 (旅、述懐、無常、神祇、釈教) 歌注釈	本体 10000 円+税	部	公費・私費
定家、初学百首、韻歌百二十八首、千五百番歌合百首、内大臣家百首、注釈	本体 13000 円+税	部	公費・私費
藤原定家名歌注釈	本体 3000 円+税	部	公費・私費
中世文学序考〔再版〕	本体 14286 円+税	部	公費・私費
院政期説話集の研究	本体 7767 円+税	部	公費・私費
日本文学概論ノート 古典編	本体 1400 円+税	部	公費・私費
くずし字で読む『百人一首一夕話』	本体 1800 円+税	部	公費・私費
宮内庁書陵部蔵柳原本 朔旦冬至部類 影印と翻刻	本体 8300 円+税	部	公費・私費
風に紅葉考—百花繚乱する〈性〉への目差し—	本体 3000 円+税	部	公費・私費
十市遠忠和歌典籍の研究	本体 34545 円+税	部	公費・私費
長秋詠藻全評釈 下巻	本体 12500 円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑦ 紫式部日記・集の新世界	本体 3000 円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑥ 狭衣物語の新世界	本体 3000 円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑤ 宇治十帖の新世界	本体 3000 円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ④ 堤中納言物語の新世界	本体 3000 円+税	部	公費・私費
源氏物語の表現と絵画的展開—夕霧を中心に	本体 12000 円+税	部	公費・私費
〈今・ここ〉に効く源氏物語のつぶやき	本体 1200 円+税	部	公費・私費
ものがたりたちの京都 京都文学入門	本体 1500 円+税	部	公費・私費
源氏物語生々流転 論考と資料	本体 16000 円+税	部	公費・私費
平安文学の人物と史的世界—随筆・私家集・物語—	本体 12000 円+税	部	公費・私費
次世代に伝えたい新しい古典—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて	本体 2000 円+税	部	公費・私費
平安中期和歌文学攷	本体 11000 円+税	部	公費・私費
源氏物語三条西家本の世界—室町時代享受史の一様相	本体 12500 円+税	部	公費・私費
後拾遺和歌集 新風と「をかしき風跡」	本体 8800 円+税	部	公費・私費
文学としてのマンガ	本体 2000 円+税	部	公費・私費
大和物語の達成—「歌物語」の脱構築と散文叙述の再評価	本体 3000 円+税	部	公費・私費
物語における和歌とは何か	本体 10000 円+税	部	公費・私費
更級日記 上洛の記千年—東国からの視座	本体 11000 円+税	部	公費・私費
紫式部日記論	本体 7000 円+税	部	公費・私費
新編 土左日記 増補版	本体 1500 円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔	本体 円+税	部	公費・私費

ご注文者		公費の場合	
お名前 (フリガナ)	お電話番号	お宛名	
ご送付先 〒 —		公費伝票類	
		日付有無	あり・なし
		納品書	通
		見積書	通
		請求書	通

物語における和歌とは何か

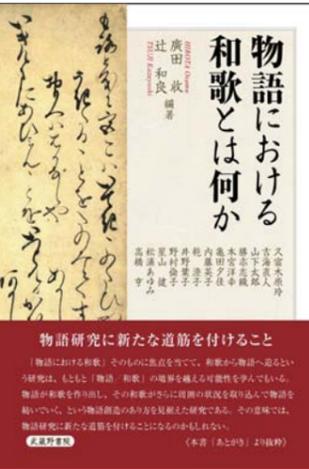
最新刊

廣田 收 辻 和良〔編著〕

ISBN : 978-4-8386-0734-1 ・ 本体 10000 円
A5 判上製カバー装 ・ 372 頁



「物語における和歌」そのものに焦点を当てて、和歌から物語へ迫るとい
う研究は、もともと「物語／和歌」の境界を越える可能性を孕んでもいる。
物語が和歌を作り出し、その和歌がさらに周囲の状況を取り込んで物語
を紡いでいく、という物語創造のあり方を見据えた研究である。その意味では、
物語研究に新たな道筋を付けることになるのかもしれない。



更級日記 上洛の記千年

最新刊

—東国からの視座

和田律子 福家俊幸〔編〕

ISBN : 978-4-8386-0731-0 ・ 本体 11000 円
A5 判上製カバー装 ・ 438 頁



『更級日記』の作者、菅原孝標女が数えて13歳の寛仁4(1020)年に、
東国上総より京へ上洛してから令和2(2020)年でちょうど千年。この機
会に東国からの視座による論文集を企画。本論集は文学研究者のみなら
ず、歴史学の研究者、房総古代道研究会のみなさんにもご登壇いただ
くなど、実に多士済々な執筆陣が、専門領域を超えて多角的な視座で論ずる。



紫式部日記論

最新刊

久保朝孝〔著〕

ISBN : 978-4-8386-0730-3 ・ 本体 7000 円
A5 判上製カバー装 ・ 342 頁



現存『紫式部日記』は、父藤原為時を第一の読み手とし、娘紫式部によ
って記された「家の記」としての「仮名日記」に基づき、内省的記述を付加
して作成された「別記」群の不完全な集成である(第一章)。本書は、この
想定に至る著者積年の論考を一書にまとめたものであり、混迷を極める本
作品成立過程(形態)論に一筋の光明をもたらす雄編としてここに提示する。



新編 土左日記 増補版

増補
重版

東原伸明 ローレン・ウォーラー〔編〕

ISBN : 978-4-8386-0656-6 ・ 本体 1500 円
A5 判並製カバー装 ・ 144 頁



本書の特色は、従来『源氏物語』等で実践されてきた言説分析の成
果に基づき、本文の分析(地の文・内話文・会話文・草子地・移り
詞・自由間接言説・自由直接言説等)と注解を行っていることにあ
り、解説部分を英訳することで国外にも視野を開いた。増補版にお
いては、参考文献を一部修正するとともに、大幅に増補した。

